



ファッションショーのモデルとして、ウエディングドレス姿などを披露する町民ら

沿岸

町民モデル 生き生き

大槌町連 2年ぶり芸能祭

地域の話題・情報お寄せください

- 八戸支社 0178(43)1010
- 洋野支局 0194(69)1060
- 久慈支局 0194(53)3030
- 宮古支局 0193(62)1771
- 釜石支局 0193(23)5107
- 大船渡、陸前高田合同支局 0192(27)3070

大槌町老人クラブ連合会(細川汪会長)の第35回芸能祭は16日、同町小鎚の町城山公園体育館で開かれた。震災の影響で2年ぶりの開催。高齢者らは歌や踊りを披露し、観客らに元気な姿を見せた。

細川会長が「一日も早い復興を願い、高齢者のパワーを発信しよう」とあいさつ。町民ら約400人が見守る中、町内の老人クラブ約20クラブが、さまざまな衣装で民謡や合

唱、甚句などを発表した。

花巻市の梅木ソーイング教室(梅木紀久子代表)の協力によるファッションショーもあり、町民がモデルとしてステージに登場。普段とは違う姿に会場は大いに盛り上がった。ウエディングドレス姿を披露した同町大ケ口2丁目の荒谷ユキさん(69)は「結婚式を挙げていないので、ドレスは初めて。一生の思い出になった」と笑顔で話した。同連合会は震災で会員67人が犠牲になった。震災前は会員約780人だったが、町外への避難者もあり、現在は約500人。